

メタセコイア命名80周年・三木茂博士生誕120年記念事業 特別展「メタセコイア～生きている化石～」

期 間 : 令和4年1月6日(木)～令和4年2月12日(土)
休 館 日 : 日・月曜日、祝日、
大学入学共通テスト実施日(1月15日、1月16日)
※特別開館 2月11日(金・祝)

時 間 : 10:00～16:00

入 館 料 : 無料

会 場 : 香川大学博物館

入 館 者 : 412名(27日間)

主 催 : メタセコイア命名80周年記念事業連携協議会
(香川大学博物館、香川県教育委員会、
三木町、メタセコイア友の会・三木)

協 力 : 大阪市立自然史博物館、国立科学博物館、
さぬき市雨滝自然科学館

助 成 : 公益財団法人カメイ社会教育振興財団(仙台市)

内 容 : 三木町出身で香川大学農学部的前身校である香川県立農林学校を卒業した三木茂博士が、ヒノキ科に属するセコイアやタクソディウム(ヌマスギ)とされてきた化石が新属であることを発見し「メタ(後の)セコイア」と命名してから2021年で80年を迎え、三木茂博士の生誕120年になることを記念して開催した。「生きている化石」の代表とも呼ばれるメタセコイアの植物形態学的な特徴を解説するとともに、三木茂博士の生い立ちからメタセコイアの化石の発見、そしてその普及にいたるまでの経緯、三木茂博士の偉大な功績について紹介した。大阪市立自然史博物館所蔵の三木茂博士が採集・研究したメタセコイア化石やプレパラート標本(大阪市指定文化財)などのほか、国立科学博物館、さぬき市雨滝自然科学館、香川県立五色台少年自然センター、三木茂博士資料館から借用した展示品ならびにデータから作成したパネル等を展示した。会期初日には、9時30分からオープニングセレモニーを開催した。主催者式辞、香川大学長挨拶に引き続き、テープカットを行った。オープニングセレモニー終了後には、香川大学博物館の篠原渉副館長(香川大学教育学部准教授)による展示解説も行なった。

メタセコイア命名80周年記念事業連携協議会は、香川大学博物館、香川県教育委員会、三木町、メタセコイア友の会・三木で構成される。香川の未来を担う子どもたちをはじめ、多くの県民に三木茂博士の功績を知ってもらい、後世に長く伝えることを目的とした。関連行事として、記念講演会「自然の夢を追い続けた三木茂博士～メタセコイア発見から80年～」を塚腰実氏(大阪市立自然史博物館 外来研究員)を講師として三木町防災センターで開催した。また、記念展示「メタセコイア～三木茂博士から学ぶ～」を香川県立五色台少年自然センターで開催した。



■展示内容



メタセコイアとヌマスギの切り株



第1章 メタセコイアのひみつ



第2章 三木茂博士の大発見



メタセコイア保存会について



世界で評価された三木茂博士の研究



体験コーナー



プレパラート標本



メタセコイアの化石

■オープニングセレモニー

会期初日には、オープニングセレモニーを開催した。主催者式辞、香川大学長挨拶に引き続き、テープカットを行いました。

日時：令和4年1月6日（木） 9:30～10:15

会場：香川大学博物館（雨天のため屋外から屋内に変更）

参加者：39名

テープカット参列者

工代 祐司氏（香川県教育委員会教育長）

酒井 孝純氏（三木町生涯学習課課長）

愛染 伊知朗氏（香川県立五色台少年自然センター所長）

高橋 由美子氏（メタセコイア友の会・三木 代表）

笥 善行（香川大学学長）

寺林 優（香川大学博物館長）

展示解説

篠原 渉（香川大学博物館副館長、香川大学教育学部准教授）



寺林館長 式辞



笥学長 挨拶



テープカット



篠原副館長 展示解説